

春告草

第16号 令和2年10月30日 進路指導部発行

2021年度 首都圏 主要大学入試情報 ②

国公立大学

(お茶の水ゼミナール発表より)

筑波大学 (人文文化・社会国際・人間・生命環境・理工・情報・医・体育・芸術)

人間学群

- ◎一般選抜後期日程を新規実施。
- ◎教育学類一般選抜前期日程共通テストで数学・地歴の指定科目を変更、5教科6科目が課される。
- ◎心理学類一般選抜前期日程共通テストで外国語・地歴の指定科目を変更。フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語が選択不可。
- ◎障害科学類一般選抜前期日程で、共通テストで外国語・数学・地歴の指定科目を変更。フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語が選択不可。個別学力検査で、フランス語・ドイツ語・中国語が不可。

生命環境学群

- ◎生物資源学類一般選抜前期日程共通テストで理科・地歴の指定科目を変更。個別学力検査で科目選択方法を変更、日本史・世界史が選択不可、また課される教科数増となる。
- ◎地球学類一般選抜前期日程個別学力検査の試験科目で数学の出題科目を変更。
- ◎地球学類一般選抜後期日程で、共通テスト理科の選択方法、外国語の指定科目を変更、フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語が選択不可。個別学力検査で小論文を廃止、面接と志望動機で合否判定。
- ◎生物資源学類、地球学類でAC入試を廃止。地球学類で国際科学オリンピック特別入試を廃止。

理工学群

- ◎物理学類、化学類で一般選抜後期日程を新規実施。
- ◎数学類、物理学類一般選抜前期日程個別学力検査で数学の出題科目、理科の指定科目を変更。物理が必須となる。
- ◎化学類一般選抜前期日程個別学力検査の試験科目で数学の出題科目、理科の指定科目を変更。化学が必須となる。
- ◎応用理工学類一般選抜前期日程個別学力検査で数学の出題科目を変更。
- ◎応用理工学類一般選抜後期日程個別学力検査で小論文を廃止。
- ◎工学システム学類一般選抜前期日程個別学力検査で数学の出題科目、外国語の指定科目を変更。
- ◎社会学類一般選抜前期日程個別学力検査で数学の出題科目を変更。
- ◎数学類・化学類・工学システム学類でAC入試を廃止。数学類で国際科学オリンピック特別入試を廃止。

情報学群

- ◎知識情報・図書館学類の一般選抜前期日程において学類・専門学群選抜を廃止、総合選抜のみ実施。
- ◎情報科学類・情報メディア創成学類で一般選抜後期日程を廃止。
- ◎情報メディア創成学類一般選抜前期日程で共通テスト試験科目の選択方法を変更。
- ◎情報科学類・情報メディア創成学類一般選抜前期日程個別学力検査で外国語・数学の指定科目を変更。

医学群

- ◎医学類・医療科学類一般選抜前期日程個別学力検査で数学の出題科目を変更。

芸術専門学群

- ◎一般選抜後期日程の個別学力検査で、実技を廃止、新たに面接・口述試験を課す。

2段階選抜

- ◎人文・文化学群(比較文化学類)、生命環境学群(生物学類)、情報学群(情報科学類・情報メディア創成学類)の前期日程、生命環境学群(生物学類・地球学類)と芸術専門学群の後期日程で導入。

AC入試

- ◎生命環境学群(生物資源学類・地球学類)、理工学群(数学類・化学類・工学システム学類)、芸術専門学群で廃止。

■新型コロナウイルス感染症に関する主な対応

- 一般選抜で調査書を用いた主体性等評価を見送る。出題範囲は例年通りとするが、必要に応じ設問中に補足事項を記載する等の配慮を行う。また、出願期間・第1段階選抜合格発表日等の一部日程を変更。
- 一般選抜人間学群前期・後期日程の選考方法を変更。個別学力検査の集団討論を見送り代替措置として論述を課す。
- 推薦入試では、外部英語検定試験の成績を総合評価に反映させず、出願資格として外部英語検定試験の証明書の提出は求めない。推薦要件を一部緩和等の措置を行う。
- アドミッションセンター入試、国際科学オリンピック特別入試、研究型人材入試では試験日程の一部を変更。

東京大学（法・経済・文・教育・工・理・農・薬・医）

共通テスト英語リスニングを利用に

表中の記号は○：全学科での実施 △：一部学科での実施 ×：未実施

試験の種類	文科一類	文科二類	文科三類	理科一類	理科二類	理科三類
一般選抜（前期）	○	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	全学部（後期課程の学部ごと）で募集					
外国学校卒業学生特別選考	○	○	○	○	○	○

*学校推薦型選抜以外は文科一類～三類、理科一類～三類で募集する。所属学部・学科等は入学して1年半後に学生の志望と成績をもとに内定。前期課程の各科目の学生が主に進学する後期課程の学部・学科については、大学HPや募集要項を参照。学校推薦型選抜については下記を参照。

- ※**一般選抜（前期）**…共通テストと第2次学力試験を課す。志願者数が募集人員に対し一定の倍率を超えた場合、共通テストの成績により第1段階選抜を行う。理科三類以外の第2次学力試験は4教科で実施され、英語では聞き取り試験が課される。理科三類では面接が課される。
- ※**学校推薦型選抜**…後期課程の学部単位（医学部のみ学科単位）での募集を行う。専願制で学校長の推薦が出願条件。前期課程は教養学部へ所属、後期課程は出願時の志望により決定。書類選考で1次選考を行い、合格者に対し、2次選考として学部ごとに面接等を実施。書類選考・面接・共通テストの成績等で総合的に合否判定。
- ※**外国学校卒業学生特別選考**…第1種（外国人であって日本国の永住許可を得ていない者）と第2種（日本人及び第1種以外の外国人）がある。第2種は第1次選考が書類審査、第2次選考で小論文・学力検査・面接を課し、第1次選考の結果も踏まえ総合的に判定する。
- ※**学部英語コース特別選考**…特殊な選考方法のため表から省略。教養学部国際日本研究コース・国際環境学コースで実施。入学は9月。コースの詳細および募集要項はHPを参照。

変更点

全科類

- ◎一般選抜前期日程の共通テスト外国語「英語」で「リーディング」と「リスニング」を利用。配点は「リーディング」140点満点、「リスニング」60点満点に換算。
- ◎学校推薦型選抜で1校から推薦できる人数が合計4名まで（男女各3名以内。同一学部・学科は男女各1名以内）。
- 新型コロナウイルス感染症に関する主な対応**
- 一般選抜において新型コロナウイルス感染症に罹患した入学志願者に対し追試験を実施。共通テスト特例追試験の受験者については出願期間等を別途定める予定。詳細は入学者募集要項（11月中旬発行予定）を参照。

東京外国語大学（言語文化・国際社会・国際日本）

一般前期個別試験でリスニング必須！

表中の記号は○：全学科での実施 △：一部学科での実施 ×：未実施

試験の種類	言語文化	国際社会	国際日本
一般選抜（前期）	○	○	○
一般選抜（後期）	×	△	×
学校推薦型選抜	○	○	○
帰国生等特別推薦選抜	○	○	○

- ※**一般選抜（前期）**…共通テスト（5教科5科目または5教科6科目）と個別学力検査（外国語、世界史または日本史）が課される。国際日本学部では、外国語としてBCT-Sを利用した英語スピーキング試験が課される。個別学力検査の外国語は、リスニングを含む。
- ※**一般選抜（後期）**…国際社会学部（除くオセアニア）のみで実施。共通テスト（3教科3科目）と小論文を課す。
- ※**学校推薦型選抜**…専願制。提出書類による第1次選考、小論文及び面接による第2次選考を総合して評価し、合否判定する。
- ※**帰国生等特別推薦選抜**…専願制。学校長の推薦が必要。提出書類による第1次選考、小論文及び面接による第2次選考を総合して評価し、合否を判定する。

変更点

- ◎一般選抜で、出願時に入力した(1)高校時代に取り組んだことや将来に向けての意欲についての自己評価、(2)高校時代に主体性を持って取り組んだことについて、合否判定ライン上に位置する志願者の選抜に利用する。
- ◎一般選抜前期日程個別学力検査の外国語科目で、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、朝鮮語を廃止し、英語のみ実施となる。

国際社会学部

- ◎一般選抜後期日程試験科目が「外国語」から「小論文（※英語の課題文を読み、日本語で解答する形式）」となる。
- 新型コロナウイルス感染症に関する主な対応**
- 一般選抜（前期日程）「地理歴史」において歴史の知識に関する設問を「基本的な事項」にとどめるよう留意。
- 2021年度一般選抜前期日程から新規実施予定であった言語文化学部と国際社会学部における「英語スピーキングテスト(BCT-S)」の導入を1年延期。

基本的に情報は概要であり、今後変更される場合があります。必ず大学の募集要項を確認してください。